

子育てに関するアンケート調査結果(H19.11実施)

社団法人 熊本県保育協会・総務／広報調査合同委員会

1 現在、何人お子さんがいらっしゃいますか？			
現在 子どもの数	母親数	%	子どもの数累積
1人	347人	26.0%	347人
2人	617人	46.1%	1,581人
3人	320人	23.9%	2,541人
4人	43人	3.2%	2,713人
5人	8人	0.6%	2,753人
6人	2人	0.1%	2,765人
調査対象	1,337人	100.0%	単純出生率 2.07人

2 経済上の制約や住宅事情等、子育てには様々な制約がありますが、あなたにとって子どもが何人いることが理想でしょうか？			
理想とする 子どもの数	母親数	%	子どもの数累積
1人	25人	1.9%	25人
2人	439人	32.8%	903人
3人	736人	55.0%	3,111人
4人	116人	8.7%	3,575人
5人	20人	1.5%	3,675人
6人	0人	0.0%	3,675人
7人	1人	0.1%	3,682人
		100.0%	単純出生率 2.75人

【1・2考察】

①現在、何人お子さんがいらっしゃいますか？

1, 337人の母親が2, 765人の子どもを産んでおり、単純出生率は2.07となった。前述1)の出生率調査と全く同じ数字であり、統計的に今回の調査規模がもたらす結果は、「全数調査」に等しい精度であることを示している。

②子どもが何人いることが理想でしょうか？

1人から7人までの回答があったが、3人と答えた母親が全体の55%を占め、全体の単純平均でも2.75人となった。前述1)の出生率調査で特殊合計出生率2.55人との結果が出たが、2.75人を理想とする中で、2.55人の結果は、「本当に頑張っている」と大きな賞賛を送るべきと考える。更に、3人以上を希望する層の合計は実に65.3%に跳ね上がり、制約がなければ3人に2人が「子どもは3人以上いることが理想」としている。

しかしながら、これはあくまで「制約の程度が現状と同じ程度であれば2.55までいく」ということで、制約が強くなれば2.55を下回ることの推測は容易である。こうした中で本年4月より県下の大部分でスタートした「第3子以降の保育料の一部無料化」については、非常に有効な施策と言える。また、「何故第3子なの？」という疑問に正面から答える結果が出たように思う。保育園利用の母親が実際に第3子を出産するための施策は少子化対策に最も有効な方法の一つである。

図①

子どもの現在数と理想とする子どもの人数（累積値）

※母親 1,337人を対象とした結果

